学校番号	T1206

令和８年度　　工業科

教科	工業	科目	基礎製図	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

立体図を見て投影図（正面図・平面図・右側面図）を描く。また投影図より立体図を描く。これらによって三角法の基礎を学習する。この学習にはプロジェクターや電子黒板を活用する。機械製図を中心に基本的な図法や寸法記入法などを学習し、手書きによる図面作成の練習を通して、製図に関する基礎的な知識や技術を身につけさせる。

２ 学習の到達目標

知識及び技能：製図に関する基本的な知識を理解し、JISに基づいた図面を正しく描く技能を身につける。
思考力・判断力・表現力等：図面から形状や寸法などを正確に読み取り、目的に応じた図面を適切に表現する力を身につける。
学びに向かう力、人間性等：製図作業を通じて、丁寧さや正確さの大切さを理解し、主体的で協働的に学ぶ姿勢や態度を身につける。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機械製図の作図に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、機器の原理や使用方法を理解し、その技術を適切に活用している。	機械製図に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	機械製図に関する課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	投影図と立体図	座学プリント１・２ 座学プリント３・４ 投影図 １～１０ 立体図 １～１０ まとめ	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。 c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	作品 プリント	作品 プリント	学習観察 プリント
後期	手書き製図	ドラフターの使用法 製図道具の使用法 線の練習 等角図 支持台 パッケージの展開図	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。 c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	作品 課題図面	作品 課題図面	学習観察 課題図面

※ 表中の観点について　a：知識・技能　　b：思考・判断・表現
c：主体的に学習に取り組む態度